ドクターヘリ新聞

発行者 土屋 羽玉智

ドクターヘリ 1分1秒でも早く患者の元へ!

平成23年10月1日 県内2機目のドクターヘリが信州大学医学部附属病院にやってきました。それから2年。今、長野のドクターヘリはどんな活やくをしているのでしょう。

最初のころは ヘリも必要とする患者さまがいなくて、なかなか呼んでもらえませんでした。そこで、「要請基準」というどんな時なら今を呼んでいいかの決まりを作りました。それから少しづつようせいがふえて今では1日に1件出動しています。

長野は2機 佐久と松本にある2機のドクターヘリが広い長野県をそれぞれの活動にあわせて協力し合って1分1秒でも早く患者さんの元へ行きます。H25年10月から1年間で460件の出動があり、大切な命を1つでも多く救うため、長野の空を飛んでます。

ドクターヘリはなぜ必要?

命を助けるのには時間とのたたかいです。心そうが止まったら3分、呼吸が止まったら10分、大量出血したら30分以内に適切な応急手当をないと、助かる可能性が一気に下がります。救急車を待つのではなく、ドクターがヘリで患者さんの元に飛んできすぐに治りょうを始めることで助かる命がふえるのです。

ドクターヘリとは…

日本で初めてドクターヘリを始めたのは岡山県。救急車のように患者さんを運ぶだけの役割でなくヘリコプター中でドクターがちりょうしながら病院に患者を運ぶことができるヘリコプターです。(運行時間=8:30~日没)

ヘリの到着時間

信大病院 ~ 長野市内
約15分(車で40分)
信大病院 ~ 飯田市内
約30分(車で1時間)
・長野県内は一番遠いところでも約35分以内で行くことができます。

ヘリに乗れる人数

ドクター・ナース・パイロット・せいびし・患者・家族 6名
※1人70kgまでなので1本重も大切です!

ヘリコプター内には…

- さんそボンベ
- 心電図
- じょせいどうき
- 点てきのポンプ
- 人工呼吸
- 吸いんき(たんをとるもの)

命を救う4つのバッグ

出動の時には必要なバッグと一緒に現場に行きます

外傷バッグ

ケガをした時に使う

・ほねがおれた時にささえるぼう など

小児バッグ

子どもに使う

・子どもサイズのちりょう道具が入っている

ナースバッグ

ナースが使う

・おもに薬
・点てき など

ドクターバッグ

ドクターが使う

・ちょうしんき ・ペンライト
・気道をかんほするもの など

Doctorの1日

小林

7:30ごろ 病院へ
着がえてヘリポートへ
持ち物かくにん
たりないものがないように毎日チェックするよ

8:30ごろ ヘリが到着
ようせいがあるまで救命センターで仕事
待っているときはいつ連絡がくるかキンチョー

ようせい
ヘリポートまで走る!
連絡があってからヘリが飛びたつまで3分

15:30ごろ 反省会
みんなで良かったことを話し次に役立てるよ
チームワークが大事!

日没 ヘリが松本空港へもどる
救命センターでの仕事

19:00ごろ 家に帰る
こんなに時間どおりにはすごせないけどね

小林先生インタビュー

自分を大切にすることから人を助けることができるんだよ!!

Q 子どものころの夢は?
A 天文学者。空が好きなんだ

Q 救急救命を選んだ理由は?
A 私はよくばりなんだ。1つの科に決められなくて、全部出来るのがここだったんだよ。

Q どうして医しになったの?
A 困っている人を助けたかったからだよ

Q 今までで一番大変だった事は?
A スキー場の事故で雪の山道をのぼったことかな

Q ドクターヘリのすごいところは?
A ドクターヘリは現場に早くつけるんだよ。救急車は病院についてから、ちりょうになるけれど、ヘリはついたらすぐちりょうが出来るから救える命がふえるんだ。

Q 気をつけていることは?
A 何よりも自分のけんこうを大事にしているよ。自分が元気じゃないと人を助けられないし、自分のかわりはいないからね。

ちょこっとクイズ

Q ドクターヘリのプロペラ1まいのねだんはHowmuch?(いくら?)

1. 100万円
2. 500万円
3. 1500万円

先生からのおねがい

ドクターヘリがきたらあぶないからはなれたところでみていてね

ドクターヘリのシンボルマーク

ギリシャ神話に出てくる杖を持った人がヘビの姿で現われて人を杖で助けたことでこのマークが使われています。杖は"命"をあらわします。ヘビは"知恵"をまた6つの柱は"生命の誕生"をあらわしているそうです。救急医療をあらわしているそうです。

80円で全国にドクターヘリを!!

日本には35ヶ所に41機のドクターヘリがあります。1機でもふえると助かる命もふえます。1機について年間2億円ほどかかるのでなかなかふやせません。全国50ヶ所に置くと1年で100億円。日本人1人あたり80円です。80円で25000人がヘリに乗り、3割以上の人が命をおとさずにすむのです!

ドクター体験しちゃいました!

夏なのに長そでを着ていて暑いけど、人の役に立てる仕事てすごいヘルメットはすごく重かったです。

あとがき

ヘリでも、夕の食ずくう気もちがあったからこそ医者になれたんだと分かりました。

「しょう来、医者になりたい」と言ったら小林先生に「15年後にまってるよ」と言われました。よし、がんばるぞ~!!

ドクターヘリ、これからも、がんばれ~!!